

# 私の通知表 2023

初春のお慶びを  
お祝い申し上げます



幸せな一年でありますよう  
こころよりお祈り申し上げます

真帆は社会人2年目  
真綾は大学3年生  
夫婦で18kg減量 現状維持を

昨年は、弟の長男白飯陽村が「昭和騎馬4x100M」で残念な結果に  
入賞記録は②に落ちています。

今年一番です。今を去ること30数年。私を始めてインターハイに導いてくれた生徒に対して、母校の先輩として「やらずに決めるのは勿体ないよ」と諭してくれた方です。その一言で、生徒の人生も変わりました。自身は、近畿インターハイで0.1秒差の7位で全国大会を逃しましたが、その悔しさを後輩が晴らしてくれたと、翌々年一緒に喜んでくれました。

その甥っ子が、西播地区の陸上競技で繋がるとは・・・。

## 謹賀新年

辛多き一年になりますよう  
心よりお祈り申し上げます  
本年もどうぞよろしくお願いいたします  
2023年



明けましておめでとうございます。  
昨年はお会い出来なかった事に  
お詫言わせてお会い出来るのを楽しみに  
しております。  
寒くなってきてお体に気をつけて下さいね。  
良い一年になりますように。

一学期の職業ガイダンスで、保育士としての心構えを話してくれた卒業生です。

久しぶりの、たかが一度の機会に再び繋がりが生まれることの縁も、この職業ならではかもしれません。

前任校の陸上競技部員です。中学校は野球部で、慣れない陸上競技に取り組み、西播地区の大会で各種目2本ずつ走れるようになりました。

昨夏にはドバイへ短期留学し、海外交流の経験をしました。

夏・冬・休みの課題も、いつも休みに入る頃には終了させて、休み中は本来の学びである、自己研鑽に時間を費やしていた生徒です。



年賀状 ありがとうございます。  
最近スマホでメールを送りあうだけで年賀状を書く文化がうすれてしまいました。僕は将来、防衛省の技術研究部で働きたい、大阪大学目指して努力しています。先生もお身体に気をつけてください。



良くも悪くも、一番元気だった頃のクラスの生徒です。早くから管理栄養士を目指し、第一志望の大学進学は叶いませんでしたが、四年後に目指し続けた管理栄養士の国家試験を見事パス。今も笑顔を忘れずに、貪欲に、かつ、厳しく、悔し涙を噛みしめ、真摯に仕事と向かい合っている日々を、毎年一年に一回、挨拶を交わし続けています。

いまだに夢にまで登場してごめんなさい。でも、今にこそ生きることも話していた、熱量を持った日々を共有できていたのかなど、感慨深いものです。



今年もよろしくお願いいたします

令和5年 元旦

年賀状のお写真を見て当時と全く変わらな心しました。結婚しもう2年経とうとしています。31歳になり私には今でも夢が3年6組の朝礼だったり卒業式だったり見守りがあります。いつかまたお会いできることを楽しみにしております。これからと107 あられる養内先生に感謝！！



全体的には、女子からのものの選択が多くなるのですが、高校では硬式野球部でありながら、神戸大学では工学部、かつ、アメリカンフットボール部主将を務めました。一般企業で修行し、今は実家でお父様の右腕となり、さらに修行を積んでいます。毎年、年々の成長を強い決意と共に報告してくれる卒業生です。

小学校教諭となり、3年目が終わろうとしています。少林寺拳法で、2年連続で全国IH出場。2年次に入賞。結果、その後は苦労したが、小学校教員に一発合格。悩みながらも、目の前には常々児童と向かい合っ、毎日を頑張ってくれています。



前任校の皆勤者。修学旅行では怪我をしながら、スキーをするために、医者の言いつけを忠実に守り、実習を乗り切った生徒でした。蛙に興味があったとは露知らず。来年の研究報告を楽しみにしたいものです。



学校外でサッカー(エストレラ姫路)をしていました。正月、休日も遠征遠征の日々だったが、全国大会にも参加しながら理系で頑張った。共通テストで思うにらず、前期では秋田大学の他会場受験申請を間違えて名古屋まで行きながら、まさかの門前払い。退路が断たれ、必死で後期でのリベンジを信じ、見事スーパーゴール！今は秋田で、青春謳歌中。



高3の一年だけ縁があった生徒です。兵庫教育大学に進学し、学校隣の幼稚園に教育実習の際に再会。後輩達をよく応援してくれていました。昨春、慣れぬ地である岡山に就職。溢れんばかりの想いととも、今年も年賀をくれました。それ以上に、悩みの毎日ではあると思います。それと向かい合った一年を綴った、来年度の交換年記を楽しみにしています。



あけましておめでとうございます

新しい年が素晴らしい一年でありますよう  
心よりお祈り申し上げます

陸上競技部の卒業生です。不器用で、他の部員に食らいつく毎日でしたが、リレーメンバーとして貴重な存在で、バトンを持つと人が変わる生徒でした。

毎年、年相応の仕事の悩みを年賀で相談してくれて、コロナ前にはその年のリレーカーニバルで再会し、共有した話題で教育を語り、お互いに次へのステップを踏んでいたのですが。

久し振りに以前の元通りの風景を辿りたいものです。

来年度で保育士2年目になり、年数だけがベテランになってきてあせっています(笑)  
去年は保育士の健康なニュースが目立ち、正直もうやめてしまいたいなとも思いましたが、目の前の子どもたちへの責任を考えるとまだ続ける決心がつきました。先生も、お身体に気をつけてまだまだ元気に頑張ってください!!

能力の高い生徒でしたが、煮ても焼いても食えず、高校時代は開業医のお父さん、医療事務のお母さんに逆らうばかりでした。

工学部進学を公言し、絶対に親の跡を継ぐことはないと言っていました。高3の年末になって急に医学部に進学したいと...

後から聞くと、妹にその重荷を背負わすわけにはいかないとようやく重い腰を上げました。

一浪しましたが、それ以来、普段話していたこと、親の気持ち、自分の本心によくたどり着いてくれたのかなあ。

あと数年。私が元気なうちに姫路に戻ってほしいものです。

Happy New Year 2023



姫路に戻るのは6年後になりそうですが、先生にお会いした時に恥ずかしくないようにがんばります

今年も素晴らしい一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

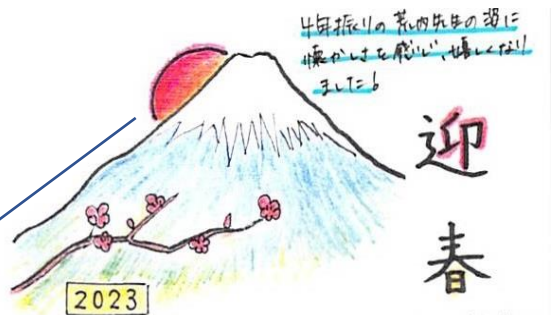


お元気ですか。  
大学生になって2年目、毎日忙しい生活ではありますが、最高の同期と先輩にめぐまれて充実した毎日送っています。壁はぶつかつながらも部活に勉強に学びの多い2年間はなりました。

改めてこの大学に進学できて良かったなと思っています。  
これからも妥協せず、向上心は忘れず日々大切にして、悔いのない4年間になるよう生活していきたいです。  
先生も新しい場所で熱く元気に健康で頑張ってください。

あけましておめでとうございます

スポーツ大好き、書道、ダンス、バレエ等々、何にでも挑戦したい生徒でした。練習も、倒れるまで自分を追い込み、それでも笑顔で皆に声を掛け続けてくれていました。



4年前の某先生の習い事に懐かしく思い出してました

一年の付き合いでしたが、今もなお気に掛けてくれることは教師冥利に尽きます。

3年の総体では、膝の靭帯が切れていたのに、県大会で決勝に残り、国公立大学も前期・後期とも不調。翌月の4月に京都建築大学校に進学。捲土重来を期し、大学院進学、一級建築士免許を取得。四年前の3月に胸を張って、就職の報告してくれたことが懐かしい。器用な生き方ができる生徒ではなかったけれど、自分に絶対負けない、意地っ張りでもある生徒でした(笑)。

- ① れしいこと 楽しいこと
- ② いこうに
- ③ ちとつまった一年になりますように

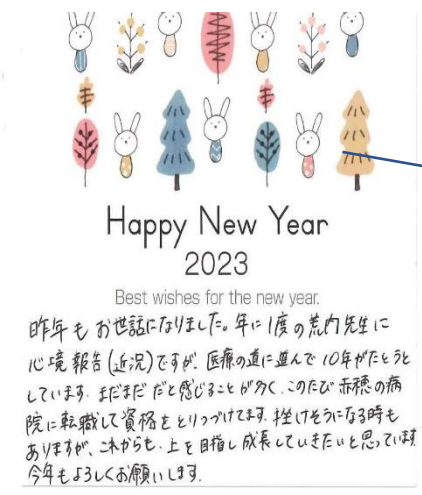
本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます

昨日は陸上競技部のメンバーと山登りにハカリ、杉原、内海のふんふん富士登山をしてきました。山頂に到着してからは、お祈り申し上げます。

新橋駅裏手にある観音堂のOPC。今年4月にヤマト工務店が完成しました。

高校から陸上競技(長距離)を始め、県駅伝出場に大きな力を発揮してくれました。

管理栄養士を目指し、滋賀の大学へ。そこでの学びで研究に触れ、管理栄養士としてではなく、研究を深めてその活用法に強い興味を持って今に至っている生徒です。



彼女のコメントが、年賀の文化の醍醐味であると思います。授業のように、次から次へと流れる時間の中で感じることも大切ですが、一つのテーマと向かい合って自分がどう時間を過ごしたかを振り返る機会を持つことも、とても大切です。自分への疑問を失わず悩むことは、実は真摯に自分と向き合っている証拠だと思える日に気付くといいね。

皆さんは、通知表をもらうときにどんなことを思いますか。“どきどき”、“わくわく”、“不安”。良くも悪くも、そこには自分がやってきたことの評価が示されています。

私達と高校生としての皆さんとは、三年間の付き合いしかありません。その大半は、教科を介してのものです。ただ、自分の人生を進んでいく中で、教科の知識ももちろん大切なものですが、知識は持つだけでなく、知識を拡げる、知識を用いることで自分の道を進んでいくこととなります。

その道の途中に、「縁があった」ときのこと、そのときに理解できなかったことが「ふと気付く・結びついた」ことを、卒業した「今」、手が離れた「今」に共有することができる。

これが教育だと、私は思います。「たかがはがき一枚」。それらは、私にとっては「虚礼」ではなく、その一枚のために多くの思い・気遣い・再会のチャンスをしたためてもらえることは、そんな「関係」であった・になることができた・となることを求めてくれた皆さんに、感謝の限りです。

今回紹介した人達も、高校時代には他の「人生の先輩」から頂いた通知表を見せていました。皆が皆、言っていることを理解しあえるわけでは勿論ないですが、この中にも「自分達も後輩達に紹介してもらうことができますか?」と言っていた連中も含まれています。

「有言実行」、そして、次の世代への繋がりを「今の自分」から作ろうとしてくれることを、自分に残された教師生活の中では伝え続けようと思います。一枚のはがきに詰まった思いをできるだけ見えるように印刷用に加工をしましたが、皆に伝えたいものを選ぶとどうしても見辛くなってごめんなさい。

「ゼロ」はまず足し算から始めなければいけませんが、「存在」すれば今のやり方を継承しながら工夫をすれば、拡がります。

今年の私の通知表からでした。